



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社電通国際情報サービス

コード番号 4812 URL <http://www.isid.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 釜井 節生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 酒井 次郎

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

TEL 03-6713-6160

平成25年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	35,087	3.6	1,249	△15.4	1,505	△6.5	931	△1.6
25年3月期第2四半期	33,867	10.5	1,477	65.6	1,609	58.2	946	32.1

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 7百万円 (△98.9%) 25年3月期第2四半期 626百万円 (△24.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	28.59	—
25年3月期第2四半期	29.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	57,586	37,576	65.2
25年3月期	58,798	37,903	64.4

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 37,554百万円 25年3月期 37,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,500	3.8	4,460	6.4	4,700	9.0	2,870	9.5	88.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	32,591,240 株	25年3月期	32,591,240 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	8,290 株	25年3月期	8,110 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	32,583,079 株	25年3月期2Q	32,583,250 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は、5ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
5. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)におけるわが国経済は、新興国の成長鈍化等を背景とした不透明感は依然として残るものの、円高の是正や経済政策への期待等から、景気に改善の兆しが見られつつあります。情報サービス産業におきましても、金融業や製造業のIT投資に回復傾向が見られ始めており、足下はいまだ厳しさが残るものの、先行きには明るさが戻りつつあります。

かかる状況の下、当社グループは、3カ年の中期経営計画「ISID Open Innovation 2013」の推進を通して、当社グループの差別化ならびに業績の拡大に取り組んでおります。この中期経営計画は、「価値協創」をテーマとして掲げ、お客様、電通グループ、その他のあらゆるパートナーとのコラボレーションを通じて時代を先取りした新しい価値を創出し、お客様や社会の課題解決に貢献することを目指しております。

計画最終年度となる当連結会計年度においても、中期経営計画の最終年度として、競争優位分野への選択と集中をさらに推進しております。金融ソリューションセグメントにおいては、メガバンクや大手金融機関向けのソリューションを国内外で強化するとともに、地域金融機関向けソフトウェア製品「BANK・R」を中国に展開するため、中国のIT企業と業務提携を結びました。エンタープライズソリューションセグメントでは、主力製品である連結会計システム「STRAVIS」、統合人事システム「POSITIVE」を一新してリリースしたほか、昨今、自動車業界で導入が進む革新的なもののづくり手法MBD(モデルベース開発)を支援するソフトウェア製品「iQUAVIS」の機能強化版をリリースいたしました。コミュニケーションITセグメントは、電通との協業のさらなる加速のため、マーケティング・プラットフォーム「iPLAss」を用いた提案を積極的に推進しているほか、大阪地区の新しい商業施設グランフロント大阪で来街者向けの情報サービス提供基盤として利用されているソーシャルシティ・プラットフォーム「+fooop!」を軸として、「まち」を対象とした新たなビジネスを推し進めています。

当第2四半期連結累計期間の売上高は35,087百万円(前年同期比103.6%)となりました。当社グループが展開する3つの事業セグメントのうち、エンタープライズソリューションは減収となったものの、金融ソリューションならびにコミュニケーションITが増収を牽引しました。

一方、利益面では、円安による原価増等の影響で売上総利益率が低下したため、売上総利益はほぼ前期並みの10,619百万円(前年同期比99.8%)となりました。加えて、海外拠点の体制強化に伴う人件費増等により販売費及び一般管理費が9,370百万円(前年同期比102.3%)と増加したため、営業利益は1,249百万円(前年同期比84.6%)、経常利益は1,505百万円(前年同期比93.5%)、四半期純利益は931百万円(前年同期比98.4%)とそれぞれ減益となりました。

事業セグメント別の売上高および営業の状況は以下のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

■事業セグメント別売上高

事業セグメント	前第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日		前年同期比 %
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	
金融ソリューション	9,561	28.2	10,557	30.1	110.4
エンタープライズソリューション	16,121	47.6	15,327	43.7	95.1
コミュニケーションIT	8,184	24.2	9,203	26.2	112.5
合計	33,867	100.0	35,087	100.0	103.6

(注)「金融ソリューションセグメント」では、金融業界を対象とした各種金融サービスに関わるソリューションを提供します。「エンタープライズソリューションセグメント」では、基幹システムや経営管理分野を対象としたソリューションならびに製品開発・製造分野を対象としたソリューションを提供します。「コミュニケーションITセグメント」では電通グループとの協業による企業向け各種ソリューションを提供します。

■事業セグメント別営業の状況

金融ソリューション 10,557百万円 (前年同期比110.4%)

大手金融機関の事業拡大に伴う旺盛なIT投資需要を背景に、海外拠点向けシステム、市場系システム、トランザクションバンキングシステム等のシステム開発がメガバンク向けを中心に拡大しました。併せて、ネット系金融機関向けのシステム開発も拡大したことに加え、地域金融機関向けソリューション「BANK・R」やリース業向け海外拠点基幹業務ソリューション「LAMP」などソフトウェア製品の販売も堅調に推移したことから、当セグメントの売上高は増収となりました。

エンタープライズソリューション 15,327百万円 (前年同期比95.1%)

企業の基幹業務を対象としたソリューションは、連結会計ソリューション「STRAVIS」の販売が拡大したものの、SAP社やOracle社のソリューションを活用した基幹システム構築サービスが伸び悩みました。製造業の製品開発業務を対象としたソリューションは、自動車向けに積極的に進めている構想設計領域のコンサルティングサービスや3次元CAD「NX」の販売が堅調に推移したものの、家電向けの大型案件が前期に終了したこと等から厳しく推移しました。これらの結果、当セグメントの売上高は減収となりました。

コミュニケーションIT 9,203百万円 (前年同期比112.5%)

電通向けの基幹システム構築プロジェクトが堅調に推移していることに加え、電通グループとの協業の積極的推進により、マーケティング・プラットフォーム「iPLAss」、クラウド型プラットフォーム「Force.com」等を活用したシステム構築サービスが、公共・自治体向けや、企業のマーケティング業務分野において拡大したことから、当セグメントの売上高は増収となりました。

サービス品目別売上高および営業の状況は以下のとおりです。

■サービス品目別売上高

サービス品目	前第2四半期連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日		前年同期比 %
	金額 百万円	構成比 %	金額 百万円	構成比 %	
コンサルティングサービス	1,278	3.8	1,297	3.7	101.5
受託システム開発	11,152	32.9	12,083	34.4	108.3
ソフトウェア製品	4,011	11.8	4,750	13.5	118.4
ソフトウェア商品	11,167	33.0	10,837	30.9	97.0
アウトソーシング・運用保守サービス	3,090	9.1	3,322	9.5	107.5
情報機器販売・その他	3,166	9.4	2,795	8.0	88.3
合計	33,867	100.0	35,087	100.0	103.6

(注)「コンサルティングサービス」は、業務およびITのコンサルティングサービスです。「受託システム開発」は、顧客の個別仕様に基づくシステムの構築および保守です。「ソフトウェア製品」は、自社開発ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。「ソフトウェア商品」は、仕入ソフトウェアの販売および保守、アドオン開発・導入技術支援サービスです。「アウトソーシング・運用保守サービス」は、顧客システムの運用・保守・サポート、データセンター等を活用した情報サービスならびに業務の受託サービスです。「情報機器販売・その他」は、ハードウェアならびにデータベースやミドルウェア等のソフトウェアの販売および保守です。

■サービス品目別営業の状況

コンサルティングサービス 1,297百万円 (前年同期比101.5%)

製品開発プロセスの上流工程である構想設計や解析・実験を対象としたコンサルティングサービスが製造業向けに拡大したことから、当サービスの売上高は増収となりました。

受託システム開発 12,083百万円 (前年同期比108.3%)

電通向けに加え、メガバンクやネット系金融機関向けのシステム開発サービスが拡大したことから、当サービスの売上高は増収となりました。

ソフトウェア製品 4,750百万円 (前年同期比118.4%)

地域金融機関向けソリューション「BANK・R」、リース業向け基幹ソリューション「LAMP」、SAPデータ連携フレームワーク「BusinessSPECTRE」、マーケティング・プラットフォーム「iPLAss」等の拡大により、当サービスの売上高は増収となりました。

ソフトウェア商品 10,837百万円 (前年同期比97.0%)

電通との協業の推進により、SFDC社「Force.com」のライセンス販売ならびにアドオン開発サービスは大きく拡大しました。しかしながら、SAP社やOracle社などの基幹システムソリューションが伸び悩んだことに加え、製品ライフサイクル管理 (PLM) ソリューション「Teamcenter」において、家電向けの大型案件が前期に終了した反動減があったこと等から、当サービスの売上高は減収となりました。

アウトソーシング・運用保守サービス 3,322百万円 (前年同期比107.5%)

前期の大型システム構築プロジェクトが当期から運用フェーズに入ったことに加え、電通を中心とした既存顧客向けのサービスも安定的に推移したことから、当サービスの売上高は増収となりました。

情報機器販売・その他 2,795百万円 (前年同期比88.3%)

金融機関向け等が伸び悩んだことから、当サービスの売上高は減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、主として預け金および前渡金の増加や売上債権および現金及び預金の減少により流動資産が241百万円増加した一方、主として時価変動による投資有価証券の減少により固定資産が1,454百万円減少した結果、前連結会計年度末の58,798百万円から1,212百万円減少し、57,586百万円となりました。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の部は、主として仕入債務、未払消費税等および未払金の減少や前受金の増加により流動負債が276百万円減少したことに加えて、主として繰延税金負債の減少により固定負債が609百万円減少した結果、前連結会計年度末の20,894百万円から885百万円減少し、20,009百万円となりました。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、剰余金の配当はあったものの四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方、時価変動等によりその他の包括利益累計額が減少した結果、前連結会計年度末の37,903百万円から327百万円減少し、37,576百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月10日に発表いたしました業績予想より変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,399	3,017
受取手形及び売掛金	19,703	17,712
商品及び製品	27	44
仕掛品	557	834
原材料及び貯蔵品	23	18
前渡金	4,065	5,417
預け金	7,203	9,517
その他	2,171	1,879
貸倒引当金	△4	△54
流動資産合計	38,145	38,386
固定資産		
有形固定資産	5,608	5,475
無形固定資産		
のれん	63	50
その他	4,907	5,023
無形固定資産合計	4,971	5,073
投資その他の資産		
投資その他の資産	10,073	8,651
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	10,072	8,650
固定資産合計	20,653	19,199
資産合計	58,798	57,586
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,570	5,138
未払法人税等	551	410
前受金	4,258	6,246
受注損失引当金	294	206
資産除去債務	9	—
その他	5,530	4,937
流動負債合計	17,214	16,938
固定負債		
役員退職慰労引当金	28	28
資産除去債務	761	776
その他	2,889	2,265
固定負債合計	3,679	3,070
負債合計	20,894	20,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,180	8,180
資本剰余金	15,285	15,285
利益剰余金	12,199	12,805
自己株式	△28	△28
株主資本合計	35,637	36,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,155	1,210
繰延ヘッジ損益	95	5
為替換算調整勘定	△12	94
その他の包括利益累計額合計	2,238	1,311
少数株主持分	27	22
純資産合計	37,903	37,576
負債純資産合計	58,798	57,586

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	33,867	35,087
売上原価	23,226	24,468
売上総利益	10,641	10,619
販売費及び一般管理費	9,163	9,370
営業利益	1,477	1,249
営業外収益		
受取利息	29	20
受取配当金	16	16
持分法による投資利益	2	89
為替差益	68	96
雑収入	36	63
営業外収益合計	155	286
営業外費用		
支払利息	21	19
雑損失	1	9
営業外費用合計	22	29
経常利益	1,609	1,505
特別損失		
固定資産除却損	79	—
特別損失合計	79	—
税金等調整前四半期純利益	1,530	1,505
法人税、住民税及び事業税	374	376
法人税等調整額	205	194
法人税等合計	579	571
少数株主損益調整前四半期純利益	950	934
少数株主利益	4	3
四半期純利益	946	931

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	950	934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	△944
繰延ヘッジ損益	△41	△89
為替換算調整勘定	△98	107
その他の包括利益合計	△324	△927
四半期包括利益	626	7
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	621	4
少数株主に係る四半期包括利益	4	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			
	金融ソリューション	エンタープライズ ソリューション	コミュニケーション IT	合計
売上高				
外部顧客への売上高	9,561	16,121	8,184	33,867
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	9,561	16,121	8,184	33,867
セグメント利益又は損失(△)	544	△309	1,242	1,477

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			
	金融ソリューション	エンタープライズ ソリューション	コミュニケーション IT	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,557	15,327	9,203	35,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,557	15,327	9,203	35,087
セグメント利益又は損失(△)	818	△962	1,393	1,249

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

製造業の構想設計やグローバル人事・管理会計など当社グループが強みを発揮できる領域において、競争力のあ
るソリューションをお客様視点で構築・提供することを目的として、平成25年4月1日付で当社のビジネスソリ
ューション事業部とエンジニアリングソリューション事業部を統合し、エンタープライズソリューション事業部とす
る会社組織の改編を行いました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間より、これまでの4区分の報告セグメントのうち「エンタープライズソリ
ューション・ビジネス系」と「エンタープライズソリューション・エンジニアリング系」を統合し、報告セグメン
トを「金融ソリューション」「エンタープライズソリューション」「コミュニケーションIT」の3区分に変更して
おります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織改編後の報告セグメントの区分に基づき作成し
たものを開示しております。

5. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

主として連結財務諸表提出会社の顧客に導入される情報システム及びそのソフトウェアの稼働時期は、期首及び第
3四半期会計期間期首からとなる場合が多いため、多くの顧客の決算期（年度末）である3月及び第2四半期会計期
間末である9月にシステム開発の完了又はソフトウェアの出荷・納入が集中します。そのため、当社グループの売上
は3月及び9月に集中する傾向があり、当社グループの生産、受注及び販売実績は季節的変動があります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同四半期比較については、前年同
四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）における生産実績をセグメントご
とに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（百万円）	前年同四半期比（％）
金融ソリューション	8,534	113.0
エンタープライズソリューション	4,428	85.1
コミュニケーションIT	5,233	122.5
合計	18,195	106.9

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）における生産実績をサービス品目
ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	生産高（百万円）	前年同四半期比（％）
受託システム開発	12,254	108.9
ソフトウェア製品アドオン開発	2,444	122.0
ソフトウェア商品アドオン開発	3,496	92.7
合計	18,195	106.9

(注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発およびソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれて
おります。

2. 金額は、販売価格に換算して表示しております。

3. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
金融ソリューション	8,936	101.5	4,069	93.6
エンタープライズソリューション	4,702	92.9	1,964	99.7
コミュニケーションIT	5,799	80.7	2,630	77.4
合計	19,438	92.3	8,664	89.2

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）における受注状況をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
受託システム開発	12,800	84.9	5,720	77.4
ソフトウェア製品 アドオン開発	2,659	133.9	1,661	140.4
ソフトウェア商品 アドオン開発	3,977	99.6	1,282	112.5
合計	19,438	92.3	8,664	89.2

- (注) 1. ソフトウェア製品アドオン開発およびソフトウェア商品アドオン開発には導入技術支援サービスが含まれております。
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
金融ソリューション	10,557	110.4
エンタープライズソリューション	15,327	95.1
コミュニケーションIT	9,203	112.5
合計	35,087	103.6

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）における販売実績をサービス品目ごとに示すと、次のとおりであります。

サービス品目	販売高（百万円）	前年同四半期比（％）
コンサルティングサービス	1,297	101.5
受託システム開発	12,083	108.3
ソフトウェア製品	4,750	118.4
ソフトウェア商品	10,837	97.0
アウトソーシング・運用保守サービス	3,322	107.5
情報機器販売・その他	2,795	88.3
合計	35,087	103.6

（注）1．金額には、消費税等は含まれておりません。

2．主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、以下のとおりであります。

相手先	前第2半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）		当第2半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
株式会社電通	6,341	18.7	7,625	21.7